付紙様式第2

事　業　評　価　書

補助事業名	松島飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業:東松島市矢本駅前西地区複合施設維持運営事業)
補助事業者名	東松島市長
実施場所	宮城県東松島市矢本字河戸342番地2
補助事業の成果の目標	市民の憩いの場、ふれあいの場、交流の場として、子どもから高齢者まで、幅広い年代の方々に安心・安全に利用していただくため、専門知識を有する指定管理者が維持管理及びサービス事業の充実に努め、本施設の利用者の健康・体力づくりの推進に寄与することを目標とする。 参考指標:平成26年度実績 ① 利用者数　119,363名　②事業参加者数　43,489名
補助事業の内容	東松島市健康増進センター維持管理業務
補助事業の始期及び終期	平成24年度～平成28年度

事業費及び交付金額		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度予定	計
	事業費	円 52,500,000	円 43,750,000	円 35,000,000	円 39,680,000	円 39,680,000	円 210,610,000
	交付金額	52,000,000	36,750,000	33,000,000	30,000,000	30,000,000	181,750,000

補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本施設の維持管理及びサービス事業を充実したことより、市民が、本施設を安心・安全に利用することができ利用者の増加につながっている。 また、運動を継続し、運動習慣が定着しているリピートユーザーの増加や、生活習慣病や持病を抱えた方々が、医師・健康相談などからの運動指導により症状改善を図るため継続利用したことによる運動プログラムを通した仲間づくりなどのコミュニティー形成が図られたことが増加の理由として考えられる。 東松島市矢本駅前西地区複合施設運営委員会においては、ライフステージに応じたプログラムへの意見や駅前周辺の賑わいづくり等について、利用者目線からの貴重なご意見をいただき指定管理者と今後の運営について協議検討を行った。 利用促進、満足度の向上を図る上での総評は以下のとおりである。 ①市の健康増進施設として、少しでも多くの方に自身の健康に興味をもっていただけるような動機付けや雰囲気作りを充実させることができた。 また、一方では、新規利用者や継続利用者に対する、更なる施設利便性の 向上や施設複合利用を推奨するPRが必要であると考える。 ②現代流行や利用者ニーズを敏感に感じ、施設魅力度の向上や運動プログラムの編成、イベントの開催など、ソフト・ハードの両面から施設運営を検討していく必要があると考える。 ③QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上が期待できるプログラムの推奨・個別プログラムの作成等に重点を置くことによって、幅広い年齢層の方々の、満足度・運動継続性の向上を図る事が必要と考える。 地域住民への周知については、「本施設の整備と運営には防衛施設とその周辺地域との調和を図ることを目的とした防衛省の補助事業が活用されています。」の記述を東松島市報「ゆぷと通信」コーナーに掲載すると共に本施設出入口に防衛省マークと併せ掲示を行い周知を図っている。 平成27年度実績 ① 利用者数　127,170名　②事業参加者数　46,387名
事業の改善策及び今後の対応	
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	東松島市矢本駅前西地区複合施設運営委員会 委員10名(社会教育団体、福祉団体等代表者、施設利用代表)